



No.57

Batton

The best attended top team of next

『恩賜財団済生会』とは

あらためて『恩賜財団済生会』の由来を紹介いたします。

『恩賜』…耳慣れない言葉かもしれませんが、この言葉は「天皇からいただいた」ということを指します。

『済生』…「済」すくう、「生」はいのち。つまり「国民の生命の繁栄」をさします。

明治の末期、日本は日露戦争でロシアに勝利して、大変好景気に沸いていました。多くの産業が盛んになり大金持ちが沢山現れました。

その反面貧しい人々も増え、東京の下町などには生活に困り病気にかかっても薬を買えない人々があふれていました。

明治天皇は、このような世相を非常に心配されて、勅語とともにお手許金150万円を桂太郎首相に下賜されました。

勅語とは天皇陛下のお言葉です。

この中に「施業救療以って済生の道を弘めんとす」とあります。

「(生活に困って医療を求められない人々のために)医療救護の手をさしのべ、生きる方法を講じてやりたいものである」というような意味です。

『恩賜』と書くことにも理由があります。

『恩賜財団 済生会』と一行に書いた名称を申請したところ、天皇は国民と一緒に「済生事業」をおこなうのだから、皇室だけが先行しているような印象を与えるのは適切ではない。

とおっしゃられ、二行に分けた『恩賜』という書き方になっています。

こうして明治44年(1911年)『恩賜財団済生会』は誕生しました。

以来、済生の心を受継ぎ、保健・医療・福祉の事業をおこなっています。

※現在の総裁は
秋篠宮殿下です。



お問い合わせ先：北上済生会病院 地域医療福祉連携室

電話：0197-64-7722（内線 1220・1221・1530・1531）

FAX：0197-64-1133（直通）



ZEN & KEY